

# 風 害

時期：12月上旬

## 12月上旬

### 野 菜

#### 1 事前対策

- 1) キュウリ、ミニトマト、イチゴ等の施設野菜のハウスはハウスバンドの締め直し(特に、妻面近くのバンド)等により補強する。
- 2) バンドレスのビニルハウスにおいても展張用補助バンドを用い、バタツキ防止と補強を行う。
- 3) トンネルの場合も強風でビニールが飛ばされないようにバタツキ防止と補強を行う。
- 4) 出荷できるもの(Sサイズのもの)は、できるだけ収穫し、強風等後のキズ等による下級品、出荷不適物等の減少に努める。
- 5) 強風で飛ばされるものがないか、ほ場内の溝、ほ場周りの排水溝等を点検し、整備等を行う。

#### 2 強風後の対策

- 1) 露地野菜は草勢回復のために、葉面散布剤を散布する。茎葉の傷口から病害が発生しやすいので早期に殺菌剤を用いて防除する。
- 2) ブロッコリーが強風等で倒伏した場合は、倒伏直後は無理に起さず草勢の回復に努める。極端に倒伏し、そのまま生育した場合、茎の部分の曲がり、花蕾の変形等発生するが、倒伏を直すことにより草勢が弱ったり、傷口から病害が発生しやすいので、倒伏を直す場合は、草勢回復後、株を傷めないよう注意して行う。少しの倒伏の場合は、無理に直さないほうが良い。

### 果 樹

- 1) カンキツなどで強風により、枝や葉ずれ等が発生した果実については、健全な果実と区分する。
- 2) 倒伏した樹や苗木は、速やかに立て直して支柱を行い、根際に土を入れて固める。  
また、被害の状況に応じて枝葉を剪定する。
- 3) 折れた枝は健全な部分まで切り直し、切り口に接ぎろうを塗って保護する。落葉の激しい場合や枝の切断によって主枝など枝幹部に直射日光が長時間あたる場合は、日焼け防止の白塗剤を塗布する。
- 4) ビニールが破損したトンネルやハウスは、早急に補修する。

◎ 今後の強風に対する事前対策として、棚や防風ネット、ハウスの点検・補強を行う。